

# Be Fine!

株主の皆様とシスメックスをつなぐコミュニケーション誌

特集

シスメックスグループ  
「新・中期経営計画」を策定 …… 5ページ



研究開発の中核拠点「テクノパーク」(神戸)

IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

# 利益は前年同期を下回るも、売上高は増収を達成しました。



代表取締役会長兼社長 CEO

家次 恒

いえつぐ ひさし

【出身地】大阪【略歴】大学を卒業後、銀行に13年間勤務。その後、東亜医用電子株式会社(現シスメックス株式会社)に入社。1996年代表取締役社長、2013年代表取締役会長兼社長を経て、2018年に現職に就任。【趣味】読書、スポーツ観戦【信条】「意あらば通ず」

## ポイント1 機器売上の伸長により、売上高は増収を達成

## ポイント2 当期利益\*は、為替差損が減少するも、営業利益の減少により減益

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

新型コロナウイルス感染症(以下COVID-19)に罹患された皆様にご心よりお見舞い申し上げますとともに、感染の拡大防止にご尽力されている皆様にご心より感謝申し上げます。

当社グループの2021年3月期 通期の業績は、COVID-19の影響により試薬売上が減少したものの、主にEMEA\*や中国、日本の機器売上が伸長し、増収を達成しました。一方で、営業利益は販売管理費が前年同期を下回ったものの、試薬売上の減少にともなう粗利益の減少などにより、減益となりました。また、当期利益も為替差損が減少したものの、営業利益の減少により減益となりました。売上高は前年同期比1.0%増、営業利益は同6.3%減、当期利益は同5.0%減となりました。なお、前年同期の為替レートを適用した場合、売上高は前年同期比1.3%増、営業利益は同6.4%減となります。

分野別では、COVID-19の影響を大きく受けたヘマトロジー分野\*を除き、全分野で増収となりました(為替の影響を除く)。コロナ禍においても、重要課題は計画通り進捗しており、

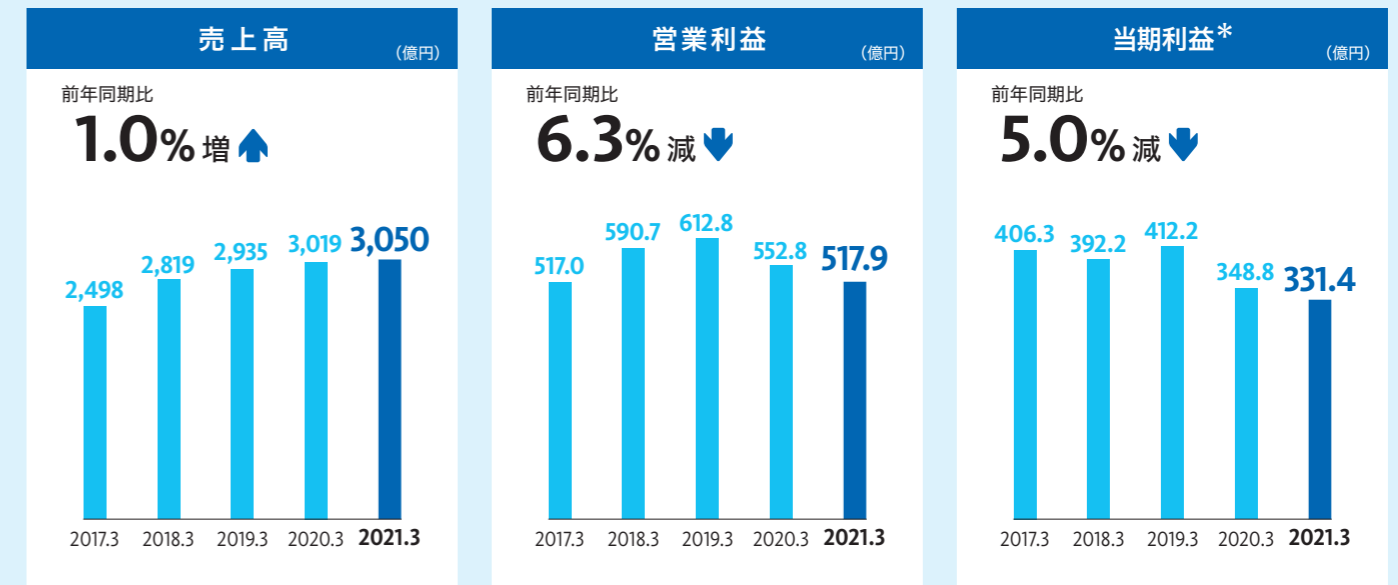
ヘマトロジー分野や血液凝固検査分野、メディカルロボット事業で新製品を発売することができました。また、ヘマトロジー・血液凝固検査分野では、アライアンス契約の更新により直接販売・サービス地域を拡大しました。さらに、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)提言への賛同など、今後の成長やサステナビリティ経営の強化に関する取り組みも積極的に推進しています。

配当につきましては、年初予想の通り、1株につき年間で72円(中間36円、期末36円)といたしました。これにより、連結配当性向は45.4%となります。今後も継続的な安定配当を目指してまいります。

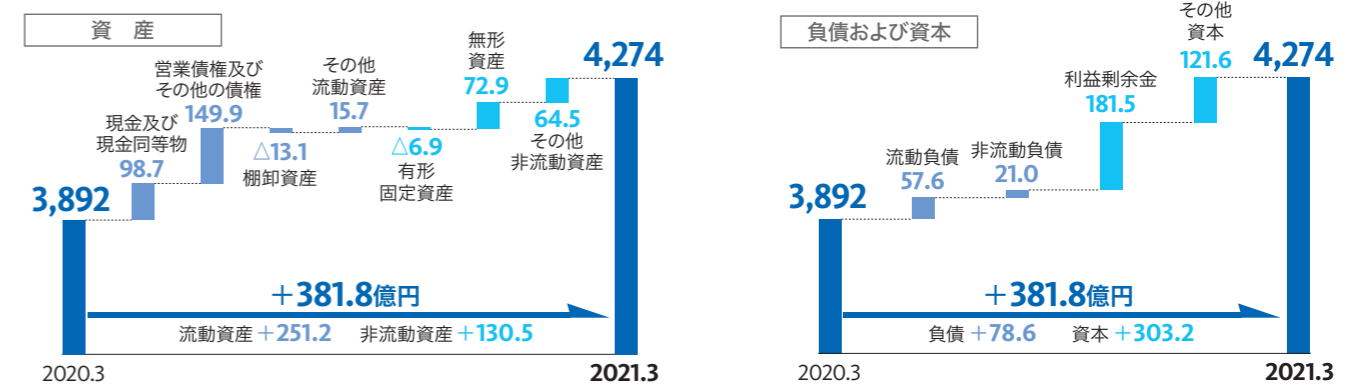
2022年3月期の通期連結業績見通しにつきましては、売上高3,500億円、営業利益600億円、当期利益400億円を計画しています\*。また、配当につきましては、年間で1株につき74円を予定しております。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

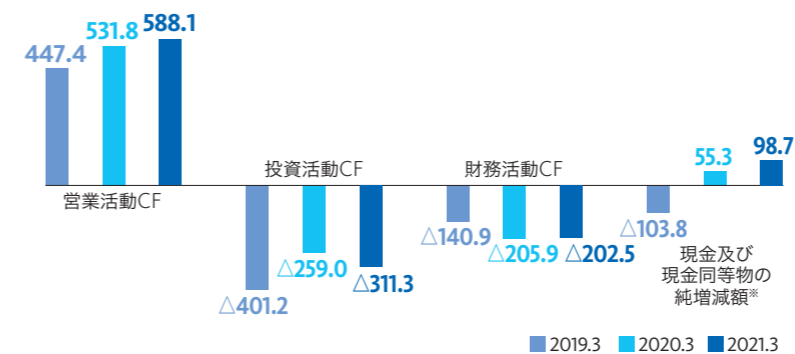
※ 想定為替レート: 1USドル=106.0円、1ユーロ=125.0円、1中国元=16.0円で算出



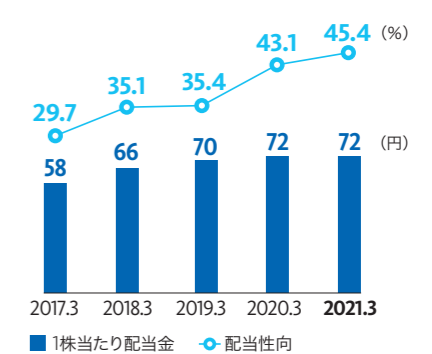
## 連結財政状態計算書の増減要因 (億円)



## キャッシュ・フローの推移 (億円) ※現金及び現金同等物に係る換算差額も含まれております。



## 1株当たり配当金/配当性向



**利益配分(配当)に関する考え方について:** 当社は、安定的な高成長を持続させるための積極的な投資と、収益性の向上に伴う株主の皆様に対する利益還元との適正なバランスを確保することを目指しております。株主還元については、継続的な安定配当に留意するとともに、業績に裏付けられた成果の配分を行うという基本方針のもと、連結での配当性向30%を目処に配当を行ってまいります。

本資料のうち、業績予想等に記載されている各数値は、現在入手可能な情報による判断および仮定に基づき算出しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化により、実際の業績等が予想数値と大きく異なる可能性があります。

\*当期利益: 親会社の所有者に帰属する当期利益。

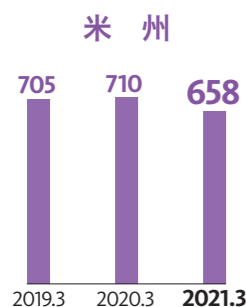
\*EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域。

\*ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。



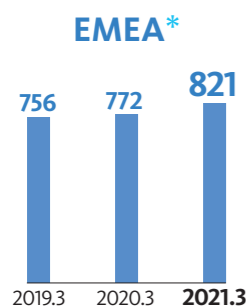
IFRS ※当社グループは2017年3月期より国際会計基準(IFRS)を適用し、IFRSに準拠して開示しております。

地域別売上高 (億円)



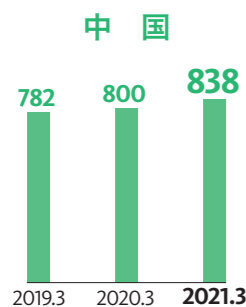
前年同期比 **7.2%減** ↓ (現地通貨ベース) **4.9%減**

主に北米において、新型コロナウイルス感染症(以下COVID-19)の影響により、ヘマトロジー分野\*の機器売上が減少したことなどにより、減収



前年同期比 **6.3%増** ↑ (現地通貨ベース) **3.7%増**

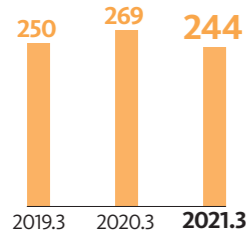
COVID-19の影響はあったものの、主にヘマトロジー分野、血液凝固検査分野の機器売上が伸長し、増収



前年同期比 **4.7%増** ↑ (現地通貨ベース) **3.6%増**

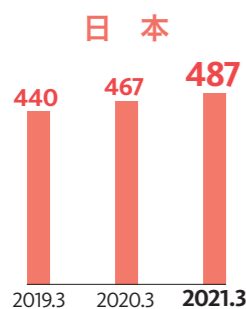
COVID-19の影響により試薬売上が減少したものの、全ての分野において機器売上が伸長し、増収

アジア・パシフィック



前年同期比 **9.2%減** ↓

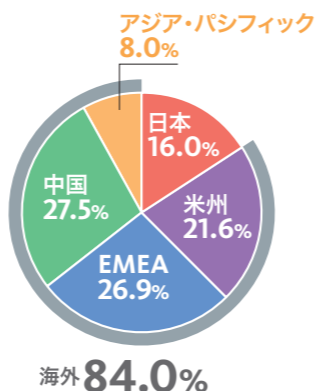
南アジアでの入札案件の獲得などにより機器売上は伸長したものの、COVID-19の影響により試薬売上が減少し、減収



前年同期比 **4.3%増** ↑

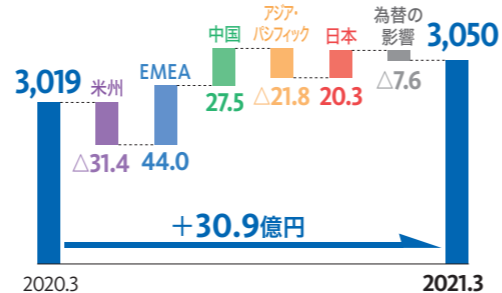
ヘマトロジー分野や手術支援ロボットの機器売上が伸長したことに加え、COVID-19関連検査により試薬売上も伸長し、増収

地域別売上高構成比



地域別売上高の増減 (億円)

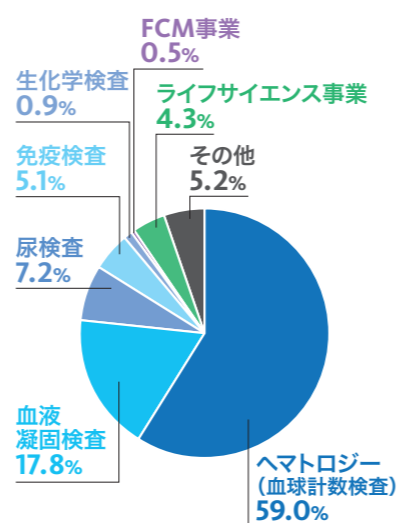
※各地域の売上高は為替の影響を除く



■為替レート (円)

	2019.3	2020.3	2021.3
1 USドル	110.9	108.7	106.1
1 ユーロ	128.4	120.8	123.7
1 中国元	16.5	15.6	15.7

事業別売上高構成比



\*EMEA: 欧州、中東、アフリカ地域。

\*ヘマトロジー分野: 血液中の赤血球や白血球などの数や種類、大きさを分析することにより、精密な検査が必要かどうかを判断するための検体検査分野。

ヘマトロジー分野の新製品を発売

2021年4月にヘマトロジー分野の次世代フラッグシップモデル多項目自動血球分析装置を、3月にコンパクトモデル多項目自動血球計数装置を日本で発売しました。シスメックスは医療機関をはじめとする世界中のお客様に検査機器や試薬、サービスをお届けしており、主力のヘマトロジー分野では世界シェア No. 1 を獲得しています。同分野をリードする立場となった現在も、「より価値ある検査結果の提供と、それを活用できる検査室環境の実現」を目指しており、今回の新製品発売を皮切りに、製品ポートフォリオの進化に取り組んでいきます。

次世代フラッグシップモデル多項目自動血球分析装置

お客様の  
ご要望に合わせた  
幅広い提案が可能



- 対象 中～大規模病院、検査センターなど
- 特長
  - 処理速度を最大10%向上
  - 幼若な血小板などの異常を検知する機能を最適化
  - 新たに自動起動機能を搭載 (オプション)

コンパクトモデル多項目自動血球計数装置

上位モデルのノウハウを  
コンパクトなボディに凝縮



- 対象 小～中規模施設、新興市場など
- 特長
  - 処理速度を約15%向上
  - 白血球の種類と割合 (白血球分画) を調べる性能を向上
  - より少ない検体量で測定でき、患者さんの負担を軽減
  - 消費電力を25%削減し、環境負荷低減へ貢献

2021年版「Global 100」  
(世界で最も持続可能な100社) に選出

2021年版「Global 100」で、シスメックスは総合32位、「Health Care Equipment」(ヘルスケア機器) セクターでは1位に選ばれました。「Global 100」は、カナダのコーポレート・ナイツ社が世界経済フォーラム年次総会(ダボス会議)にあわせて持続可能性の高い企業上位100社を毎年発表しているもので、当社は4回目の選出となります。なお、日本企業は今回、当社を含め5社が選出されました。



TCFD 提言への賛同を表明

G20の要請を受けて金融安定理事会により設置されたTCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)の提言に賛同を表明しました。TCFDのフレームワークに基づき、気候関連のリスクと機会を評価・管理し、情報開示の充実に努めることで、気候変動への取り組みをさらに強化し、持続可能な社会の実現に貢献していきます。



シスメックスのサステナビリティへの取り組みは、ウェブサイトでご紹介しています。 >> [www.sysmex.co.jp/csr/](http://www.sysmex.co.jp/csr/)

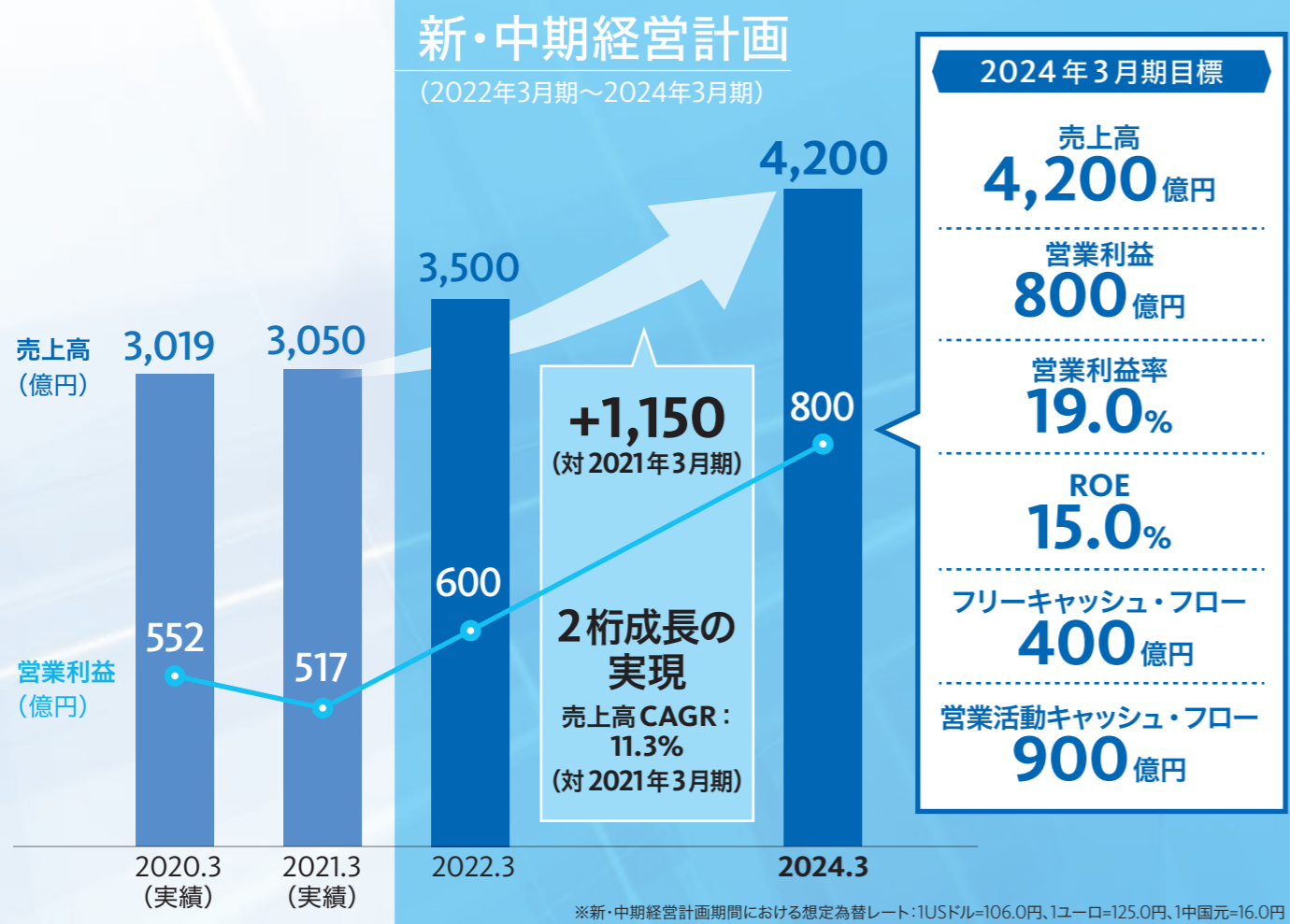
# シスメックスグループ 「新・中期経営計画」を策定

グループの力強い成長の持続とそれを支える経営基盤の強化に向け、2024年3月期を最終年度とする「新・中期経営計画」を策定しました。長期ビジョンに基づくポジショニング目標の達成を目指し、今後3年間で取り組むべき重要な事項を設定し、具体的施策の実行を推進します。

## 〈ヘルスケア市場の環境変化〉

先進国では高齢化にともなう医療の効率化、新興国では経済成長にともなう医療需要の拡大と医療の質・サービス向上へのニーズが高まっています。また、人工知能(AI)や情報通信技術(ICT)など最先端技術のヘルスケア領域への応用が急速に進展しており、世界のヘルスケア市場は今後も継続した成長が期待されています。グローバルでの新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大を機に、医療体制のあり方や医療環境自体が大きく変化する可能性もあり、さらなる成長機会も見込まれています。

- 当面はCOVID-19の影響が継続
- 医療インフラ拡充と医療費抑制とのバランス
- オンライン診療の普及など、医療のあり方が変化
- AIやロボット技術など、先進技術の活用が進展
- COVID-19以前に顕在化していた課題は継続  
加齢にともなう疾患、三大感染症、AMR対策(薬剤耐性)、開発途上国における医療アクセス向上など



## 長期経営目標 (2025年)

### ●長期ビジョン

「特徴のある先進的なヘルスケアテストング企業」

### ●ポジショニング

1. 新たな診断価値を創出するIVD\*グローバルTop 5
2. 治療を最適化する個別化診断のリーディングカンパニー
3. プライマリケアの進展に貢献するソリューションプロバイダー
4. 価値と安心を提供する魅力あふれる会社
5. スピード豊かな経営を実践するOne Sysmex

## 新・中期経営計画 重点アクション

### 1 成長性・収益性の向上を目指した新製品の投入加速、新興国戦略の推進

### 2 重点分野(血液凝固、免疫、ライフサイエンス)への積極的な投資による高成長の実現

- 新製品による各分野の事業拡大
- 直接販売・サービス地域の拡大



### 3 非連続な成長実現のための新たな事業の育成

- 手術支援ロボットによる国内外への外科領域ビジネス展開
- リキッドバイオプシー\*など、新たな事業の創出



### 4 グループのデジタル化推進と顧客価値創出に向けたDX\*の実現

- 企業体質強化に向けたビジネスプロセスの改革
- お客様サポートの変革と新たなソリューションの創出

### 5 戦略実行に資する人材ポートフォリオの充実と多様な人材を活かす魅力ある組織風土への転換

- グローバル共通のジョブ型人材マネジメントシステムの定着を推進
- ダイバーシティ経営と健康経営の推進

### 6 サステナビリティ経営の強化・実践に向けたビジョン策定、施策展開

- 持続的成長に向けて優先的に取り組むべき課題(マテリアリティ)の推進

\*IVD (in vitro diagnostics): 一般的には、血液や尿などの検体を用いて身体状態を診断する体外診断を示す。ここでは、体外診断を行うために実施される検体検査の領域を示す。

\*リキッドバイオプシー: 血液や体液から、がんなどの疾病の検査を行うこと。

\*DX: デジタルトランスフォーメーションの略。デジタル技術によって事業や生活の質を高めること。



## 会社概要 (2021年3月31日現在)

- 商号 シスメックス株式会社  
SYSMEX CORPORATION
- 設立年月日 1968年2月20日
- 資本金 132億2,997万円
- 格付け AA- (R&I:格付投資情報センター)
- 従業員数 9,510名(連結) 2,719名(単独)  
\*嘱託・パートタイマーなどを含む
- 主な事業内容 臨床検査機器、検査用試薬ならびに関連ソフトウェアなどの開発・製造・販売・輸出入

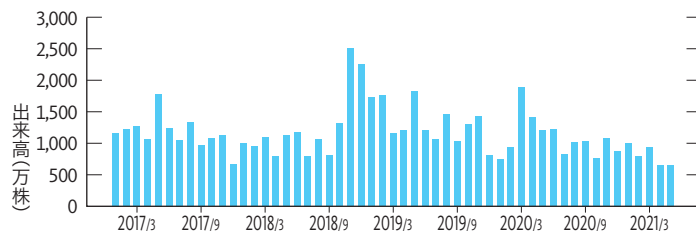
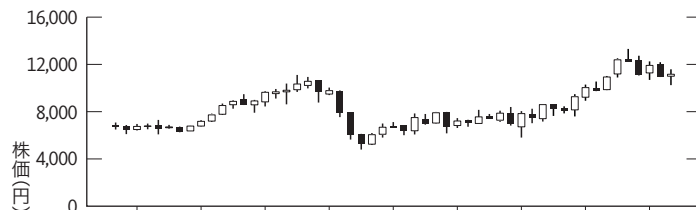
### ■役員 (2021年6月25日現在)

代表取締役会長兼社長 CEO	いえ つぐ 家次	ひさし 恒
取締役 専務執行役員 CTO	あさ の 浅野	かおる 薫
取締役 専務執行役員	たち けん 立花	じ 治
取締役 常務執行役員	まつ い 松井	いね 根
	かん だ 神田	ひろし 博
	よし だ 吉田	かず 一
	とも 智	
社外取締役	たか ぼし 高橋	よ 代
	おお かつ 太田	お 男
	ふく もと 福本	ひで 秀
	かま お 釜尾	ゆき 幸
	はし もと 橋本	まさ 正
	いわ ま 岩佐	みち 道
	ひろ ち 久保	まもる 守
	い い づか 飯塚	けん 介
	お の 小野	たかし 隆
執行役員	ホウ 彰	サク 輝
	Frank Buescher	
	かな がわ 金川	みつ ひさ 晃久
	Alain Baverel	
	わた なべ れい 渡辺 玲子	かおる 薫
	わた なべ 渡辺	あき 明
	なが い 長井	たか 孝
	うち 橋	きん 欣也

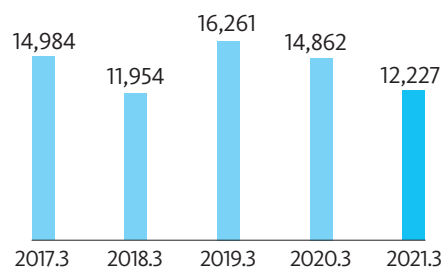
## 株式の状況 (2021年3月31日現在)

- 会社の発行可能株式総数 598,688,000株
- 発行済株式総数 209,443,232株

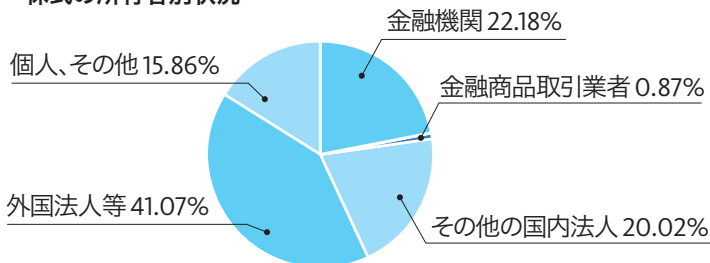
### ■株価・出来高の推移 (2021年5月31日現在)



### ■株主数の推移 (人)



### ■株式の所有者別状況



## 株主メモ

- 事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで
- 定時株主総会 6月
- 基準日 定時株主総会 3月31日  
期末配当金 3月31日  
中間配当金 9月30日

その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。

### ■公告方法

当会社の公告方法は、電子公告とします。  
ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告による公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載を行います。  
電子公告掲載ホームページアドレス [www.sysmex.co.jp/ir/](http://www.sysmex.co.jp/ir/)

### お知らせ

1.株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることになっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。 2.特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取り扱いいたします。 3.未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

- 上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部
- 証券コード 6869
- 単元株式数 100株
- 株主名簿管理人・特別口座の口座管理機関  
〒100-8212 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号  
三菱UFJ信託銀行株式会社
- 同連絡先(郵便物送付先・電話照会先)  
〒541-8502 大阪府中央区伏見町三丁目6番3号  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
電話 0120-094-777 (通話料無料)